

# 「2024 年夏季手当 3.0 ヲ月分」 社員と家族の生活改善を求める。

**増収減益の要因は、輸送量の低迷だけじゃない！  
設備投資など営業経費の増加が大きな負担！**

貨物会社は2023年度決算について、輸送量の低迷や大雨など、自然災害の影響を受け、連結・単体ともに赤字となり、3年連続の赤字で厳しい状況であったことを強調していますが、営業収益は、前年度に比べわずかに増えていることは事実であり、社員の生活を後回しにしてもいいわけではありません。

そもそも、輸送量の低迷だけが増収減益となった要因ではありません。「JR貨物グループ長期ビジョン2030」において、10年間で4000億円を超える設備投資を行うというものが背景にあり、毎年400億円ほどの設備投資を行った結果、減価償却費等により営業経費が大幅に膨らんだことと、燃料費の増加もあり、営業経費が営業収益を上回っていることが、経営に大きな負担となっています。

社員はこれまで物価上昇で厳しい生活を強いられ、経営陣は夜を問わず、奮闘してきました。貨物会社は、貨物会社、関連会社で働く社員の懸命な努力と奮闘に伝えるべきであり、「経営課題」や「赤字」を理由に社員転嫁することは問題外です。

**2024年度夏季手当「3.0ヶ月分支払い」を  
貨物会社に申し入れを行う！！**

国鉄労働組合は、5月13日に、「2024年度夏季手当支払い」に関して、6項目を申し入れています。

「2024年度夏季手当」の闘いは、国労が毎年取り組んでいる「賃金・生活実態アンケート」では、「夏季手当の使途」では第1位に「生活費」、第2位に「預貯金」、第3位に「借金」と期末手当が生活費となっています。「現在の生活程度」は、「不満足」、「やや不満足」、「何とも言えない」を合わせれば、約9割弱の社員が「生活程度」に満足していないことを裏付ける結果となっており、貨物会社に働く社員の生活実態が一層深刻化していることを示しています。

今こそ懸命な努力で安全運行を支える社員に対し、経営課題を優先することなく、社員の労苦に応えるべきです。

すべての社員の生活改善に向け、国労とともに声をあげましょう。

## 「2024年度夏季手当」の支払いに関する申し入れ

1. 支払いは、2024年6月1日現在の基準内賃金の3.0箇月分とすること。
2. 支払日は、2024年6月30日までとすること。
3. 期間率、成績率の支払い条件について大幅に改善すること。
4. 支払いにあたっては公平・公正に行い、社員間・組合間差別は絶対に行わないこと。
5. 調査期間内に55歳に達した者、また、55歳以上の社員については、55歳到達時の基準内賃金の100%を算定基礎額とすること。
6. 契約社員及び臨時社員についても、社員と同様の取り扱いとすること。

